



甘木絞り

～福岡県甘木地方独特の絞り～

藍染めの布にくっきりとした白い絞り文様が美しい「甘木絞り」は、甘木地方独特の絞りです。城郭文様や鳥獣・花文様など、ほか産地にはない絵画的な作品に優れているのが特徴です。江戸時代に始まったといわれるこの甘木絞りは、明治10年頃には全国一の生産量を誇るほどの繁栄振りでした。



↑「城郭文様」男性浴衣 鹿の子、帽子、巻き上げ絞り（明治時代）田中種昭
【『甘木絞り』企画展示資料集、甘木歴史資料館、1991年発行から転載】



↑「松に鷹文様」鹿の子絞り（明治中期）藤井三郎
【左に同じ】

甘木絞りが甘木で盛んになったのは甘木を流れる甘木川（小石原川）の良質の水が木綿のさらしに最適だったからです。また、砂利敷きの河原が木綿を乾かすのに適していたからでもあります。干された布地で河原が隠れてしまうほどの賑わいだったようで、その風景はこの地方の風物詩でした。

